

医療的ケア児等支援部会取組事項（案）

	課 題	内 容	対応案	取組事項 (実態を明確にする根拠資料の作成)	
A	通園・通学	医療的ケアが必要なため、入園、入学できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園勤務の看護師による柔軟な対応</li> <li>・訪問看護事業所からの派遣事業の制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立小中学校の受け入れ態勢はどうなっているか。</li> <li>・入園、入学の希望者はどれくらいいるのか。</li> </ul>	
B	保護者の就労	時間を確保できないため、就労できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の課題（AやCなど）の解消による就労時間の確保</li> </ul>		
C	介護者の負担・不安	介護負担	まともな睡眠時間を確保できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題E「障がい福祉サービス」の解消によるサービス利用の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にどのような介護等があるのか。</li> <li>・1日のスケジュールはどのようなものか。</li> <li>・レスパイト入院できる医療機関の情報収集。</li> </ul>
		スキル	人工呼吸器等機器の取扱いや吸引、入浴介助等高度な介護スキルが必要である		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような医療機器があるのか。</li> <li>・必要な医療的ケアや介護の技術はどのようなものがあるか。</li> </ul>
		精神的負担	ヘルパー（他人）を家に入れること、病院生活から在宅ケアに移ること、周囲の目への不安		
D	情報	関係者の知識不足、情報不足、関係機関の連携不足等に伴う保護者自身による情報収集への負担		ガイドブックの作成、医療と福祉の連携、医療的ケア児等コーディネーター中心の相談体制の構築を現在進行中。	
E	障がい福祉サービス	医療的ケア対応の事業所、ヘルパーが少ない		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どれだけ不足しているのか。</li> <li>・社会資源（サービス事業所、レスパイト対応病院等）はどれだけあるのか（資源マップの作製）。</li> <li>・対応可能な事業所への依頼</li> </ul>	
F	きょうだい支援	他のきょうだいの育児に手が回らない。我慢させていることもある。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだいの数、就学状況</li> <li>・きょうだいの声を集める</li> <li>・事例（うまくいった、いかなかったこと）を集める</li> </ul>	
G	災害対応	医療機器の電源確保、避難所生活の不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブックの作成</li> <li>・個別計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常から準備が必要なものや避難先の確認</li> <li>・計画は誰がどこへどのように移動するか詳細に</li> <li>・実際に避難訓練を実施</li> </ul>	
H	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親亡き後の問題</li> </ul>			